

らこってを配布しています!

長岡技術科学大学、まちの駅よいた、道の駅良寛の里わしま、川口きずな館、道の駅R290、寺泊きんばちの湯、まちなかキャンパス ほか市内公共施設

岩田鯉のぼり有志会 (高橋さん・関谷さん) おススメ!! 2013岩田こいのぼり ~いわだ新緑の風物詩 from2002~



旧越路町岩田の父ちゃんたちが子供たちの健やかな成長を願い、鯉のぼりを大空へ泳がせます。

このイベントの始まりは、お酒の席での「もう飾らなくなった鯉のぼりを一緒に吊るしてみるか?」という会話から。今年で12年目を迎えるこのイベントは、長岡市はもちろん全国からも鯉のぼりが寄せられ、洗海川西側沿いを彩る一大イベントになっています。200匹以上の鯉のぼりが空を泳ぐ姿は圧巻。お子さんが鯉のぼりの下を通る素敵な写真も撮ることができます。また、GWの期間中は白地の鯉のぼりに寄せ書きしていただけるコーナーを用意しています。お散歩がてらに、ぜひどうぞ!



日時 4月21日(日)~5月18日(土) 会場 洗海川西側沿い
【主催・お問い合わせ先】 岩田鯉のぼり有志会【代表:高橋】TEL:090-2306-0878

楽山苑ライトアップ事業運営委員会おススメ!! 楽山苑ライトアップ



5月の与板はライトアップ!

楽山苑ライトアップは今年で19年目。今年は雅楽やジャズの演奏、お茶会も行います。これまでライトアップがメインでしたが、来てくれる方をおもてなしたいという思いからこれらの取り組みを始めました。また、12日は「着物デー」。着物を着てこられた方に写真を撮ってプレゼントします。ライトアップされた楽山苑で雰囲気のある一枚を撮りませんか?



日時 5月10日(金)~5月19日(日) ※12日(日)は観光まつり(春)も同時開催
会場 楽山苑 入場料 無料 お茶会などは別途料金(200円~500円)が必要。
【主催・お問い合わせ先】 楽山苑ライトアップ事業運営委員会 事務局(与板支所産業建設課内) TEL:0258-72-3201

一之貝集落 田植え交流会実行委員会(茨木さん) おススメ!! 田んぼアート2013



一之貝の匠が伝統の技を伝授! 田植え参加者大募集

一之貝集落では、「田んぼアート」として、黒や紫に実るの古代米の稲穂を使って田んぼに模様を描きます。模様は「一之貝」という文字や一之貝発祥と言われている栃尾でまりなどで。当日、参加者は田んぼに入り、手植えを行い、その後交流会を行います!作業の後の一杯はとてもおいしいですよ。一之貝集落の魅力を十分に感じてください。



日時 6月1日(土) 12:00~ 会場 一之貝担い手センター周辺
参加費 500円 定員 30名(先着) 申込締切 5月20日(月)
【主催・お問い合わせ先】 一之貝集落 田植え交流会実行委員会【代表:茨木】TEL/FAX:0258-53-6541

みしま西山連峰登山マラソン大会実行委員会(柳さん) おススメ!! 第29回みしま西山連峰マラソン大会 クリーン作戦



山頂から佐渡が見える山岳コースのクリーン活動をしませんか?

5月19日(日)に「みしま西山連峰マラソン大会」を開催するにあたり、下記の日程でマラソンコースのクリーン作戦を行います。この活動は今年で3年目を迎え、昨年度は150名の方から参加してもらいました。11日は作業後、トレーナーによるストレッチや豚汁の振る舞いも行います。日本海や飯館三島の方も三島以外の方もぜひお越しください。



日時 5月10日(金)・11日(土) 会場 三島中学校 申込締切 5月7日(火)
【主催・お問い合わせ先】 みしま西山連峰登山マラソン大会実行委員会事務局(三島支所地域振興課内) TEL:0258-42-2242

編集後記

今回は、「地域でもっと活動したいのだけど、地域へ出向くにはガソリン代がかかり、苦労している」というボルナツメンバーの相談をきっかけに、「地域にとって欠かせない若い力」をテーマにしました。学生が地域の方々と活動することに喜びを感じ、地域の方も孫が来てくれたように喜ぶ姿を取材して、彼らの活動がただの手伝いではなく、世代間交流を促し、地域を活性化する力を持っているということを実感することができました。

らこって FREE 2013.5.1 (vol.14)

【発行】ながおか市民協働センター
〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10
シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F ながおか市民協働センター
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900
Mail. kyodo-c@ao-re.jp URL. http://nkyod.org



今月の活動紹介 地域にとって欠かせない若い力 ~学生ボランティアサークルと地域の絆~

今月の特集は長岡技術科学大学のボランティアサークルVOLT of NUTS (通称ボルナツ)。彼らの活動と想いをクローズアップし、実際に彼らの支援を心待ちにしている人々の声を取り上げます。



VOLT of NUTS

中山間地域に出向き、
様々なボランティア活動を行っています。

ボルナツホームページ
<http://volnus.web.fc2.com/>



ながおか市民協働センター
マスコットキャラクター
たまりん

ボルナツは、長岡技術科学大学のボランティアサークルで、登録メンバーは総勢145名にもなります。長岡市を中心に、要請のあった地域で田植え、稲刈り、イベント手伝い、子供の見守りなどのボランティア活動を行っています。昨年度は過去最高の235回活動を行いました。

平成24年度ボルナツ活動実績

総活動日数	活動参加延べ人数	総走行距離数
98日	1,058人	16,300km



VOLT of NUTS
森末光晴さん

地域に入ることのできる地域の人々の元気になる、「自分たちでなにかやろう」という雰囲気になってくれることを目標に僕たちは活動をしています。あるところでは「また来たのか!?!」と、笑顔で冗談交じりにいうおじいちゃんもいました。



VOLT of NUTS
齋藤駿介さん

実際、地域に行くと1回目の活動で「ありがとう」の言葉をいただき、数回になると自分たちの名前を覚えてくれ、地域に迎え入れられている感じがとても嬉しいです。

小千谷棚田を守る会 労働力だけじゃない。刺激と癒しをもらっています!



谷口良子さん

五藤忠雄さん

ボルナツとの出会いは、中越震災時、活動していたボランティアが一同に集まる会合でした。アンケートで「どの団体と協働してやりたいですか。」という質問で、彼らが私たちと一緒にやりたいと言ってくれたことがきっかけで交流が始まりました。

今でも忘れられないことがあります。それは、一番最初に彼らが来た時のこと。一緒に田植え作業をした後「足湯をやりませんか」と言われ、その場で即席の足湯を作り、マッサージしてくれました。心が癒され、本当に感動しました。

また、地元の人も好意的に彼らを迎え入れていて、自分の子どもは田んぼに入るのを嫌がるのに彼

らが裸足になり、泥だらけになって田んぼに入るのを見ると、とても嬉しい気持ちになります。

我々もいつまでも甘えているだけではいけないという覚悟もありますが、毎年来て欲しいという期待もあります。



小千谷市東谷にある棚田で田植え作業の様子

VOLT of NUTS を心待ちにしている地域の人々

いつでも本気!遊び半分ではないボランティア集団。



竹田集落 砂川祐次郎さん

ボルナツとの出会いは、かんじきを履いて美しい景色を見に行く企画「かんじきウォーク」に彼らが参加してくれたことでした。その後、彼らからボランティアをしたいと要望があったので、活動できる場所を紹介しました。集落に若い大学生が来てくれるだけで明るくなりますが、彼らは遊び半分ではなく、常に真剣に活動に取り組みます。本当に本気で動く。凄いです、彼らは。



すべてが手作り!!竹田集落の住民による看板作りの様子

自分たちだけでは出来ない部分を補ってもらっています!



田麦山地域おこしの会 大淵賢さん



NPO法人くらしサポート越後川口 中林道泰さん

ボルナツとの縁は、地域復興支援員の方からつないでもらったのが始まりです。現在、田麦山で行うイベントは、ボルナツの力が欠かせません。彼らはイベントの手伝いだけではなく、子どもたち相手も大得意です。一緒に遊んでくれたり、宿題をみたりしてくれます。彼らがいなくなったら…きっとイベントは半減してしまうかもしれません。足りない部分を補ってもらえるだけで有難いのです。また、村には彼らくらいの年代がありません。彼らの若さからくるパワーや知恵は私たちの励みになります。若いからこそいてもらうだけでいい。彼らが地域の潤滑油になってくれています。



豪雪で壊れてしまった階段の修復作業の様子

東日本大震災 福島遠征で学んだこと



VOLT of NUTS 澁江嘉輝さん

僕たちは、12月から計3回、福島県相馬市大野台第6仮設住宅で足湯活動を行いました。仮設住宅には高齢者が多く、自分たちだけで集まっても話すことが日に日に少なくなってくるそうです。我々のような若い学生でも寄り添って話をす

で喜んでくれました。被災者の方々は忘れられたと思われるのが一番辛いのだと思います。何かしたいという気持ちを言葉で表現するのは難しいですが、「忘れてないよ」という息の長い支援として今後も足湯活動を続けたいです。



学生と地域がお互いを支え合う

長岡技術科学大学 上村靖司 准教授

2005年8月(震災から10か月後)、被災地支援のため「地元の大学として何かできるだろう」と思い、私が山古志に学生を連れてボランティアに行きました。その時、一緒に行った学生が翌年に結成したサークルがボルナツです。

近年は、田舎の無い人たちや核家族が増えており、学生たちはこ

ういった形でないと多世代の交流ができなくなっているのかもしれませんが、彼らは学校では学べない良い経験と成長をさせてもらっていると思います。また、ある時彼らに「何でもかんでもやるのがボランティアでは無いんだから、ガソリン代がきつくて行けないといってもいいんだよ。」と言いました。そんな話をしていたら、地域の人々が感謝状と一緒に金一封を持ってきてくれました。そうすると、彼らも活動しやすくなるし、地元もただ世話になっているという話ではなくなります。

僕らの悩み

地域へ向かうためにはガソリン代が必要です。年間200回の活動を行うには約40万円が必要になります。部費や助成金で補っていますが、なかなか厳しい状況です…

市民協働センター内の「コーヒー寄付(※)」の寄付先を5月1日(日)に「ボルナツ」にしています。あなたの飲み残しや彼らの助けになります。協働センターにコーヒーを飲みに来てくださいね。

※市民協働センター内に設置されているコーヒーメーカーでコーヒーを飲むと1杯100円のうちコーヒー豆代等実費を除いた分が市民活動団体に寄付されます。



市民活動 ミニセミナー

NPO法人の皆さん!新年度になりましたが、事業報告や各機関へ届け出はお済みですか?NPO法人は毎年必ず行う届け出がありますので、チェックしてみましょう!!

1 事業報告書の提出

事業年度終了後3か月以内に提出

3 定款変更の手続き

平成24年4月の法改正に伴う(代表者権限等)定款変更はお済みですか?

2 役員変更等届出書の提出

- 役員に変更があった場合、届出が必要です。
- 法務局での登記もお忘れなく

4 税務署への届出

年間収入が8,000万円以上の団体及び法人税法の収益事業がある場合は、事業年度終了後2か月以内に税務申告が必要です。



※①～④は所轄庁へ提出【長岡市役所 市民協働推進室】
※②③は法務局での登記もお忘れなく(新潟法務局となります。郵送可)

届け出に関して、不明な事がありましたら協働センターまでご相談ください!!

事業報告書の提出をする前に…特に次のようなことをチェックしてみましょう。

事業年度終了3か月以内に提出はできますか?	チェック欄	活動計算書について、「その他事業」を定款で定めている場合は、「その他事業」を区分して掲載していますか?事業を行わなかった場合も、数字をゼロで記載します。	チェック欄
事業報告書の支出額と活動計算書(収支計算書)の事業支出額が一致していますか?	チェック欄	役員の氏名、役名、住所、就任期間、報酬を受けた期間は正しく記載されていますか?(報酬がない場合は「無」と記載します。)	チェック欄

※その他のチェック項目も協働センターのHPにて公開していますので、ご覧ください!

ちょこっと 助成金情報

このコーナーでは数ある助成金の中から市民活動に使いやすく、申請期間が間近に迫っている助成金の情報をピックアップしてご紹介します。今月号でご紹介するのは国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」です。

子どもゆめ基金助成金 平成25年度二次募集(後期募集)

助成対象活動

子どもの健全な育成を図ることを目的に、子どもの体験活動・読書活動や、子ども向け教材開発・普及活動等に対する助成です。

二次募集の要件

- 平成25年10月1日から平成26年3月31日に実施する活動が対象です。
- 申請件数(1団体あたり):体験活動か読書活動のいずれか1件のみまたは、体験活動と読書活動で各1件ずつ
- 申請額(1件あたり):2万円～30万円(交付決定後、交付決定額の6割を上限に概算払いの申請が可能)
- 活動規模(参加者を募集する範囲):市区町村規模

申請期間

平成25年5月1日(水)～平成25年6月28日(金)(当日消印有効)
※交付決定は8月初旬ごろを予定

審査方法

審査委員会による書面審査
※詳しくは以下へお問合せください。

問合せ・申請窓口

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課
フリーダイヤル:0120-57-9081(月～金/9:00～17:45)
<http://yumekikin.niye.go.jp/>



実際に助成を受けたことのある団体から感想をお伺いしました

Q 助成金をつかってどのような活動を行いましたか?

子どもの言葉の力や想像力を育みたいとの思いから、「あそびの城読み聞かせ会」を実施しました。読み聞かせるだけでなく、造形活動と組み合わせ、絵本に登場する人物のパペットを作り、本の面白さがよりわかっていけるような活動も行いました。



希望が丘あそびの城 読み聞かせ会 桑原ハル子さん

Q 申請にあたって苦労されたことはありましたか?

メンバーで実施できる活動であるかということを再度話し合いました。見通しを持った計画が立案でき、申請に必要な詳細計画、収支関係、団体規約等の準備ができていたので、苦労はありませんでした。

Q これから助成を考えている方へアドバイスををお願いします

募集案内を読んでわからないところを助成先に電話やメールで問い合わせると親切に対応していただけます。審査も書類提出だけなので助成金を初めて使う方もハードルは高くないと思います。また、交付決定後の概算払いが可能など使いやすいポイントです。



活動についてのお問合わせ

希望が丘あそびの城 読み聞かせ会 担当:桑原ハル子さん
TEL090-5194-9603 E-mail:harukokuwabara@nct9.ne.jp